

1 事業概要	
事業名	一般県道山口阿知須宇部線 交通安全事業
事業場所	山口市阿知須浜区～前山区
事業主体	山口県
事業期間	平成 16 年度～平成 26 年度 (西暦 2004 年度～西暦 2014 年度)
総事業費	1,131 百万円
事業目的	<p>一般県道山口阿知須宇部線は、山口市陶の山口小郡秋穂線との交差点を起点とし、旧阿知須町を経由して宇部市東岐波の国道190号に至る、地域住民の生活を支える重要な道路である。</p> <p>当該区間は旧阿知須町の中心市街地を通り、駅・郵便局・病院の利用者や小中学校へ通学する歩行者が多いにもかかわらず、歩道が未整備であるため、児童・生徒をはじめとする歩行者は危険にさらされている。</p> <p>加えて、整備区間内の交差点には右折レーンがなく車両の円滑な通行に支障をきたしている。</p> <p>このため、歩道の整備や、交差点の改良により、安心・安全な道路交通環境を確保するものである。</p>
事業内容	<p>歩道設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○延長 L=1.46km</li> <li>○幅員 全幅10.0m (車道6.0m 歩道2.5m (片側))</li> </ul>

2 事後評価の視点
(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化
<p>【費用対効果分析】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>交通安全事業は、交通事故を抑止し、歩行者等の通行の安全を確保するために、交差点改良、歩道整備等を実施する事業であり、便益の計算手法が確立されていないため、費用対効果分析は行っていない。</p> </div> <p>【要因変化の分析】</p>
(2) 事業の効果の発現状況
<p>【事業の効果の発現状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の整備により、歩行者と自動車の通行空間が構造的に分離され、児童・生徒をはじめとする歩行者の安心・安全な道路交通環境が確保された。</li> <li>・交差点改良（右折レーン設置）により、安全で円滑な道路交通環境が確保された。</li> </ul> <p>【事業の効果の発現状況に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者の安全性の向上が図られた。</li> <li>・自動車交通の安全性の向上や円滑化が図られた。</li> </ul>

(3) 事業実施による環境の変化

【変化の状況】

① 自然環境への影響

- ・現道拡幅による道路整備により、周辺の土地の改変を最小限に留め、自然環境への影響の軽減に努めた。（田の減少：約0.1ha）

② 生活・住環境等への影響

- ・交差点改良による右折レーンの設置、構造的に分離された歩道の整備により、沿道の住民生活の安全性が向上した。

③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）

なし

(4) 社会経済情勢の変化

【変化の状況】

① 社会経済状況及び事業環境等の変化

なし

② 関連計画・関連事業の状況の変化

- ・事業区間に隣接する一般国道190号までの区間（東岐波工区）については、平成21年度迄に歩道整備を完了している。

(5) 今後の事後評価の必要性

なし

(6) 改善措置の必要性

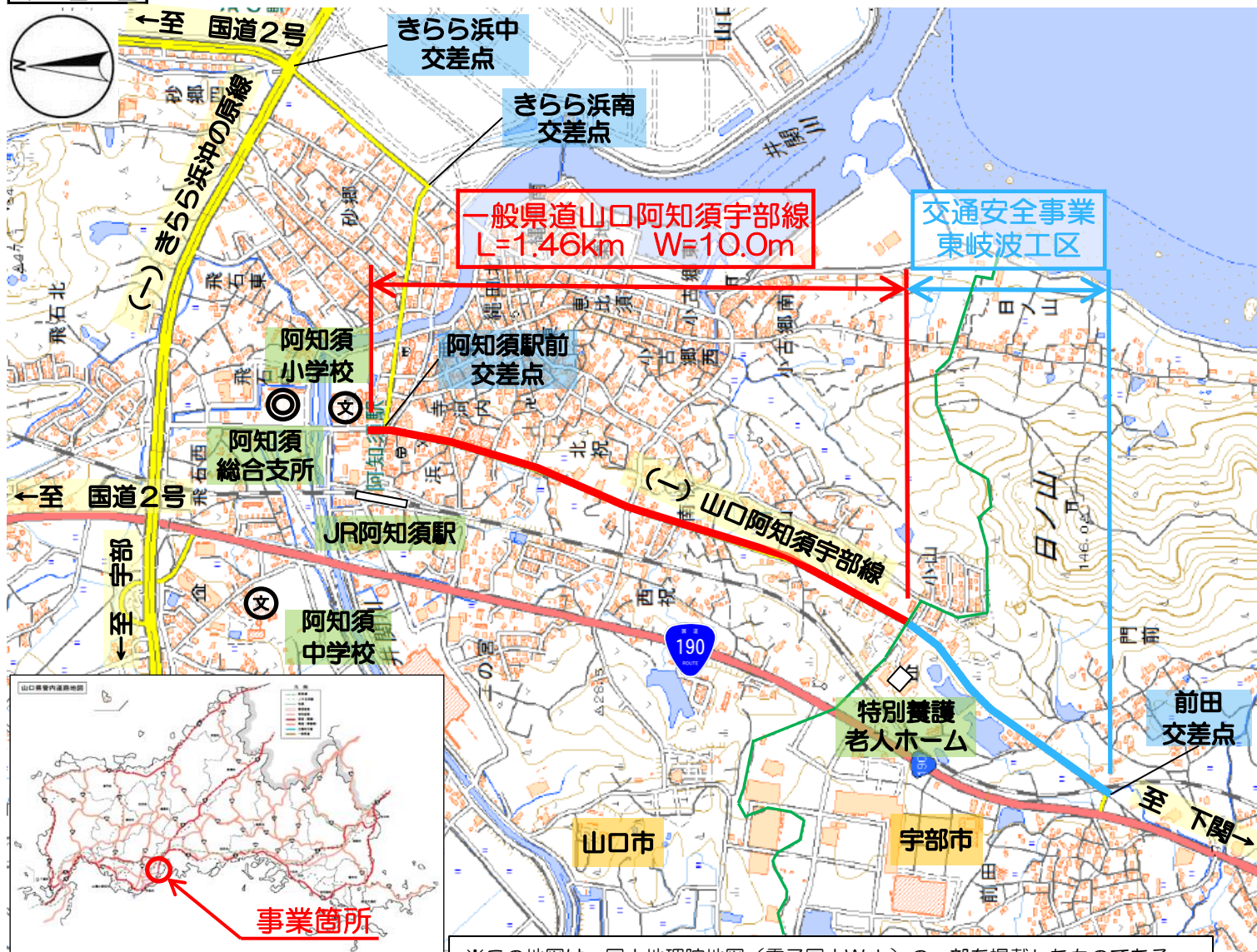
なし

(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

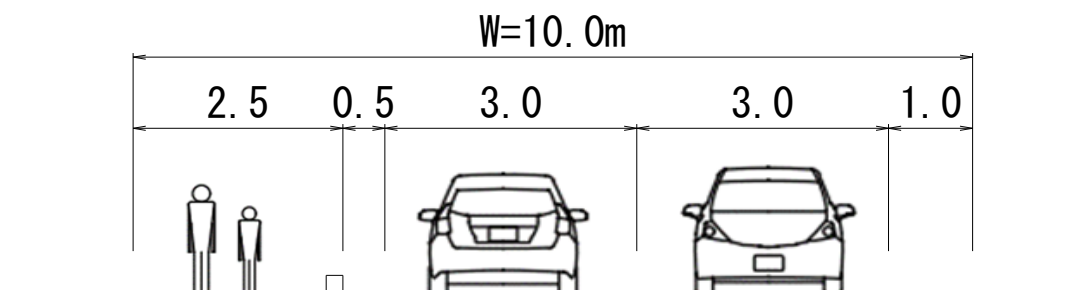
なし

# 一般県道山口阿知須宇部線 交通安全事業

## 平面図



## 標準断面図



## 写真

